

一立 大連市議会だより

2010
8.1
No. 129
TENDO



夏、本番！みどり保育園の園児は、みんなプール遊びが大好きです。今年、温水シャワーが2基設置され、より快適に水遊びができるようになりました。友だちと一緒に、楽しく元気に水に親しんでいます。

6 月定例会

一般質問……………	2～5	提出議案と結果……………	9
総括質疑……………	6	行政視察報告……………	10～11
予算特別委員会……………	7	市民の声……………	12

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月10日、11日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。

ポートピアに対する考えや中学校の武道教育などについて、市長、教育委員長の見解を求めました。

プラスチック 容器包装類

収集の啓発と改善を



伊藤和子議員

4月からプ

ラスチック製
容器包装類の

分別収集が始まったが、分別が徹底されず各地区で赤紙が貼られた袋が見られる。廃プラ分別収集の啓発をどう行ったのか。

月2回の収集では足りず、週1回の収集を望む声があるが、どう対処するのか。

山本市長 4月からのプラスチック製容器包装類の分別収集の周知は、昨年の8月に分別収集の予告チラシの全戸配付を皮切りに、市報やクリーンピア共立の広報紙、市衛連

だよりに、分別についての記事を掲載したほか、ゴミの分け方出し方についてのチラシを全戸に配付した。また、市内13の市立公民館での説明会や各種団体に対する説明会、さらに、環境衛生委員の方々から、地域の皆様への説明会

などを行っていただき、周知を図ってきた。

しかし、分別が徹底されていないことから、再度、「分けるときの注意」のチラシを6月の市報に折り込み、周知、徹底を図ったところである。

「プラスチック製容器包装類は、重さの割りに量がかさばるため、収集を月2回でなく、週1回に増やしてほしい。」との提言を数多くいただいている。このようなことから、クリーンピア共立に対し、収集回数を増やすよう要望している。



分別の徹底を

質問者と 質問事項

☆日本共産党天童市議団

(☆印は会派名)

石垣昭一議員

- * 市民が安心して医療を受けられる制度にするために
- * 非核平和都市宣言10周年での取り組みについて

伊藤和子議員

- * デマンド型乗合タクシーの導入について
- * ゴみの分別収集の啓発と改善について

☆民主天童クラブ

木村竹虎議員

- * 市有施設の安全対策について
- * 市の出先機関（三七セクを含む）の今後のあり方について

☆かがやき

松田耕一議員

- * 天童市の広報について
- * 市内公共交通について
- * スポーツ行政について
- 矢萩武昭議員
- * 庁内執務体制の整備・向上に

ついで

山口桂子議員

- * 魅力と活力のある産業のまちづくりについて
- * 天童市環境基本計画について

☆政和会

松田光也議員

- * 中学校の武道教育の完全実施に向けた取り組みについて
- * プロスポーツのまち天童のPRについて

結城義巳議員

- * 市民のスポーツ振興について
- * ポートピアについて
- * 中心部と周辺部の均衡の取れた発展について

後藤和信議員

- * クアオルト事業について
- * 森林情報館の活用について
- * 高齢者の運転免許証返納者への支援について

☆無会派

矢吹栄修議員

- * めでためでた♪花のやまがた観光圏について
- * 農業従事者の健康を守る方策について
- * 婚活について

一部負担金減免制度の積極的実施を



石垣昭一議員

経済不況による雇用破壊や所得の低下

により、国保料や医療費の一部負担金の支払いが困難な方が増加することが懸念されている。誰もが安心してかかれる医療保障の再生は急務であり、天童市においても要綱を

定め、一部負担金減免制度を積極的に実施すべきと思うが市長の考えを伺いたい。

山本市長 国保制度は、構造的に保険税の負担能力の低い低所得者の加入割合が高く、他の被保険者の保険税負担が相対的に重いものとなっている。このため、中間所得者層を中心とした保険税負担の軽

減を始め、財政基盤の強化や安定運営を図っている。

特別な理由がある場合に適用となる一部負担金の減免等は、雇用の悪化等により生活困窮者が増加している中、国

では一部負担金の減免等の適切な運用に係るモデル事業を実施し、生活に困窮する被保険者の対応について、運用基準を示す予定になっている。

一部負担金の減免の実施内容については、今後、国から示される運用基準を参考にし

て対応していく。このような方法による行政情報の発信には慎重を期すべきと考える。

災害時などにおける情報伝達については、地域防災計画に基づき、適切に実施したいと考えている。

ビデオ広報については、効果的と思うので、研究していきたい。

今後とも、現在行っている様々な広報活動をより充実させ、迅速で的確な市政情報の発信に努めていきたい。

人事と事業の見直しを



木村竹虎議員

第三セク

ターを含む市出先機関の在

り方について、人事については、専門知識を持った人材や内部からの昇進・叩き上げも職員のスキルアップにつながるのではないかと。また、民間企業と重複する事業や不採算事業は、今後しっかりと見直していく必要があると思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 市の出先機関の管理者等は、従来から内部登用を進めている。今後も、副園長、副館長等の経験を積ませながら、保育士から管理者等の登用を図っていきたい。

市が出資する第三セクターの職員は、各団体が独自に人事を行い、公募等の方法等により職員を採用している。なお、申込みのあった者の専門知識、経験、能力等を踏まえて、民間や行政経験者を採用

しているものと考えている。

市の関係機関で行う事業の中で、民間企業と重複する部分の見直しは、市が実施する事業の目的や施設設置の目的に照らして、サービスタ形態が本当に重複しているのか、事業の代替や継続の確実性があるのか、市民に不利益を生じることがないか、法的に問題はないか、などの様々な視点から総合的に判断していく必要がある。その上で、市の事業に民間活力の効率的な導入が可能であるならば、行財政改革大綱の見直しなどに反映させていきたいと考えている。

メール配信とビデオ広報の活用を



松田耕一議員

市の広報は、主に市報やホームページ

やチラシだが、行事のお知らせや緊急情報を、利用頻度が高い携帯電話向けメールとして配信してはどうか。また行事やお知らせのビデオ広報を作り、市役所や公民館のテ

レビで流したり、ホームページに載せて、わかりやすい広報をするべきでないか。

山本市長 現在のように、インターネットや電子メールなどの電子情報が氾濫している状況では、情報が必要とする人が、自ら情報を選択していくことが必要と考える。このことから、メールの一斉配信



第三セクターで運営されているパルテ

積極的に整備し、

市民サービスの向上を



矢萩武昭議員

日本一のみ
ちづくりを目
指し、「庁内

ことが市政のレベルと市民サービスの向上につながるものと考えているがどうか。
山本市長 公文書については、

執務体制の整備・向上」を図るため、①公文書の管理改善、②市政白書の定期発行、③業務マニュアルの整備、④業務・規則等改正方式の見直しについて、積極的に取り組む

文書管理規程に基づく紙ベースの文書保存表を用いた管理ではあるが、市民の多様な文書公開のニーズに対する迅速な対応が可能と考えている。各課で発行している冊子等

は多種多様であり市政白書として定期発刊することは困難であるが、市民サービス向上の観点から、冊子等の発行に当たり見直しを適時行いたい。事務引継ぎは、各担当者がその経験を生かし作成した業務マニュアル等で速やかに対応するように努めており、今後とも改善を図っていく。条例等の新旧対照表方式の改正は、視覚的には解りやすいが、正確性や効率性に課題も多く、一部改正方式での改正を継続していきたい。

実施計画の策定と

指導教員の確保を



松田光也議員

平成24年度からの中学校の武道教育完

学校が連携した地域連携推進協力者会議の設置が必要と思うが、考えを伺いたい。
沼澤教育委員長 平成24年度から、中学校1・2年生の必修となる武道教育は、日本の伝統や文化を尊重する態度を養うとともに、自らを律し相手を尊重する、豊かな人間性を培うことを狙いとしている。

全実施に向けた取り組みについて、実施計画の策定と武道教育に基づく指導教員の確保を急ぐべきではないのか。更に、武道教育の充実した授業を行うために、武道指導者と

各中学校においては、武道教育の狙いを基に、学校や生徒の実態を踏まえて、「剣道・柔道・相撲」のいずれか1種目を選択することになる。各学校の教育課程は、校長が編成することから、狙いが各学校において十分に理解され、適切に教育課程が編成されるよう指導していく。これまでの武道教育の成果と課題に基づき、ゲストティーチャーを招くなど、適切な武道教育の指導体制が確保できるように支援していく。

各学校の教育課程は、校長が編成することから、狙いが各学校において十分に理解され、適切に教育課程が編成されるよう指導していく。これまでの武道教育の成果と課題に基づき、ゲストティーチャーを招くなど、適切な武道教育の指導体制が確保できるように支援していく。

織田の里づくりの推進を



山口桂子議員

天童市には、生産高日

駒、豊富な果物があり、名湯天童温泉は、観光の拠点となっている。それらの魅力をもっと高めて、交流人口を増やすべきと考える。市として、観光テーマ「織田の里」づくりは大変重要なことである。どのように推進していくのか市長の考えをお聞きしたい。
山本市長 本市では、「天童織田藩」や「織田の里」をテーマとした観光振興に取り組んでいる。具体的には、将軍家献上寒中引き抜きそばの賞味会の開催や人間将棋の開催に合わせ、駅前から会場まで織田の里の「のぼり旗」の設置などにより、市内外に積極的なアピールしてきた。今後は、本市の市街地に点在する天童織田藩ゆかりの歴史・文化施設を巡る「織田藩

の里」に視点を置いた散策マップを積極的に活用することや、舞鶴山山頂広場を人間将棋の臨場感が感じられるような施設等の整備を行いながら、観光客や市民が散策を通して「織田の里」の歴史を感じることをできるような魅力を作り出していきたい。さらに、天童織田藩や織田の里をモチーフとした「食」を始め、名産品などの開発について、関係団体への働きかけを行い、本市の観光テーマである織田の里づくりを進めていきたい。



田鶴町地内の織田藩陣屋跡

気候性地形療法で

健康増進を



後藤和信議員

公明党が推
進してきた自
然環境を活用

した健康増進、温泉を活用した温泉療法、森や林を活用した森林浴は、自然環境が持つリフレッシュ効果を活用した取り組みである。気候性地形療

したウオーキングによる健康増進であり、今後の取組みについて伺いたい。

山本市長 クアオルト事業は、気候性地形療法を取り入れ、自然や地形と温泉を連動させた健康づくりとして、免疫力の向上、ストレスの軽減、適度な脚筋力への刺激効果などが認められている。

天童型クアオルト事業は、天童温泉協同組合や観光関係団体と連携して取り組んで行く。内容は、天童温泉の旅館等に宿泊し、市民病院の人間ドッグを受診し、さらに気候性地形療法を取り入れた舞鶴山等での健康ウォーキングの体験を目指すものである。これに加え、広域連携による魅力的な観光オプションも楽しめるものである。今後は、関係機関連携のもと、健康食の開発に取り組みながら、滞在型観光の強化を図りたい。

本市のまちづくりに必要な施設か



結城義巳議員

ポートピア
(競艇場外舟
券売場)は、

平成6年の寺津地区の経過から考えても誘致する施設でない。射幸心だけ煽るギャンブルであり、まだ価値観の確立していない子ども達への悪影響は極めて大きい。本市のまちづくりの方針にもなじまないのではないかと。様々な動きが大きいならないうち、誘致しないと明言してほしい。

また、今年度から、「第六次天童市総合計画」により、「笑顔にぎわい しあわせ実感健康都市」の実現に向けて、まちづくりに取り組んでいる。こうした中で、市長としては、先人が築き上げた風格あるまち天童を次の世代に引き継いでいく責務がある。



観光メニューづくりと

ハード整備を

矢吹栄修議員

めでため
たりの花のやま

認定を嬉しく思うが、今後の官民の連携、行政の取組みは。また、温泉・食・物づくり。歴史文化といった天童の良さを有効活用すべく、クアオルトやその他の観光メニューづく

くりとハード整備に積極的に支援すべきと考えるが、今後の具体策は。

山本市長 広域観光圏は、村山地域の7市7町と観光関係団体等が連携し、2泊3日以上での長期滞在型観光を目指すものである。事業としては、①健康温泉保養地ネットワークづくり②若松寺などの精神

文化や豊富な食材を有効活用した連泊、転泊の促進③バス、自転車などの二次交通の充実④外国人観光客を意識した情報発信⑤観光情報の収集・発信、旅行商品の企画を行う組織の設置等である。

本市としては、天童型クアオルト事業を天童温泉協同組合及び観光関係団体と連携して取り組んでいく。食については、これぞ天童の味と発信できる食材の発掘や価値付け、新たな名物料理などを関係団体と連携して開発したい。

山本市長 ポートピアについては、今年3月に、津山地区の下貫津町内会に対し、開発業者から提案があったと聞いているが、開発業者等から市に対して事業内容の説明がなされたため、どのように捉え、対応していくのか判断できない状況である。

地域の活性化は大事であるが、この施設の設置により地域が活性化されるのか、また、本市にとって良い方向への活性化なのか、そして、地域、さらには市全体が、賛成、反対で二分されるような状況になるとすれば、市長の立場で考えると、誠に不幸なことと言わざるを得ない。

しかし、青少年への悪影響、さらには交通渋滞等の住環境への影響も懸念される。

現時点では、どのような形で進んでいるのか一切経過を承知しておらず困惑しているが、過去の判断と同様に、私の理念とするまちづくりには、ポートピア施設が必要とは考えていない。

議会のうごき

4月

- 26日 議会運営委員会
第1回市議会臨時会
各派会長会
市長要請経済建設常任委員会（花のやまがた観光圏推進事業について外）

5月

- 7日 市長要請経済建設常任委員会（戸別所得補償モデル対策について外）
市長要請環境福祉常任委員会（ゆびあ新源泉掘削について外）
- 10～12日 環境福祉常任委員会行政視察
- 11～13日 総務教育常任委員会行政視察
- 12～14日 経済建設常任委員会行政視察
- 19日 市長要請総務教育常任委員会（芳賀土地区画整理事業地内の学区設定について）
- 24日 市長要請全員協議会（市文化・スポーツ振興事業団、市牧野公社、榑スポーツクラブ天童、市土地開発公社の経営状況並びに事業計画について外）
- 25日 全国温泉所在都市議会議長協議会総会（都市センターホテル／議長、局長）
- 26～27日 全国市議会議長会定期総会（日比谷公会堂／議長、局長）
- 31日 各派代表者会
議会運営委員会

6月

- 7日～22日 第2回市議会定例会
- 7日 広報委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 広報委員会

7月

- 1日 広報委員会
- 14日 議会運営委員会
各派代表者会
第3回市議会臨時会
- 15～17日 かがやき行政視察（岩見沢市、帯広市）
- 20日 各派代表者会
- 21日 市長要請環境福祉常任委員会（天童市市民病院改革プランについて）
- 22日 広報委員会
- 28日 3市1町共立衛生処理組合全員協議会
3市1町共立衛生処理組合定例会

総括質疑

6月14日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、かがやきから松田耕一議員が総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

◆議第10号本市の公の施設の東根市区域内への設置等に関する協議について

下水道施設

本市の施設を東根市区域内に設置する理由と見込んでいる費用は

松田(耕)議員 北部工業団地内の下水道施設を本市が東根市区域内に設置するが、なぜ東根市に設置するのか。それはどんな施設で設置経費はいくらか。維持管理の経費はどれくらいか。本市の住民等が利用する維持管理の経費を協議するが、いづれくらい負担するのか。利用者の負担増

にはならないのか。建設部長 同地内に下水道施設を整備するには、約1億円の経費が見込まれる。その他の接続に要する経費として、乱川に水管橋を架けて本市に接続するには更に約7億円が必要となる。一方、東根市に接続するには、圧送管等を約200万円の経費で埋設するこ

第1回臨時会

平成22年度第1回市議会臨時会が4月26日に開催され、市長提出議案4件と報告案件3件が審議され、原案のとおり可決・承認されました。

▼報第1号 物損事故に係る損害賠償の額の決定について
とになる。比較検討し、東根市と接続することにした。維持管理の経費は、下水道管渠の耐用年数である50年経過後に設置同様の経費が予想される。負担割合は2市の流入水量の割合で計算する。利用者の負担増にはならない。

の専決処分の報告について
市所有の自動車が発生させた物損事故による損害賠償の額を専決処分したので、報告するもの。

▼報第2号 平成21年度天童市一般会計補正予算(第7号)
の専決処分の承認を求めることについて
地方譲与税等の確定に伴い、補正予算について専決処分をしたので、その承認を求めるもの。

▼報第3号 平成21年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて
事業費の確定に伴い、補正予算について専決処分をしたので、その承認を求めるもの。

▼議第1号 天童市市税条例の一部改正について
地方税法の一部改正に伴い、個人市民税、市たばこ税、国民健康保険税の改定等を行うもの。

▼議第2号 荒谷西工業団地整備工事(第1号3工区)請負契約の締結について
荒谷西工業団地整備工事(第1号3工区)の請負契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。

予算特別委員会

22年度一般会計予算

8945万6千円を

増額補正

デマンド型交通に 要する経費

委員 デマンド型乗合タクシー運行委託料875万円が事業費補助金に組替えになった理由は、また補助金の算出根拠は、金額は確定なのか、または精算をして返納する可能性があるのか。

生活環境課長 事業者の自由度を高めるため、運行主体を天童市から事業者にするもの。これによって運賃・利用料は事業者の収入になる。タクシー1日当たりの平均収入2万1000円を2台稼働で計算し、燃料代、車両代、保険料、その他経費を合計し、収入運賃を差し引いた額である。事業者には報告書を提出していたが、補助金の精算をする可能性もある。

定期予防接種に 要する経費

委員 日本脳炎の予防接種に要する経費を当初予算で計上しなかった理由は、国の助成はないのか。予防接種の委託先は、接種人数と自己負担は。

子育て支援課長 日本脳炎のワクチン接種は平成17年5月まで行っていたが、急性散在性脳髄膜炎の発症事例があり、

予防接種を当面中止するよう厚労省から通達があり、停止していた。しかし、今年4月1日に新しいワクチンができたため、満3歳児を限定として積極的に接種を勧奨するよう通達があったため、6月補正予算で対応し再開するもの。財源は他の予防接種と同じように国の地方交付税で対応するため、一般財源で支出する。委託先は他の予防接種と同じように市内、県内の医療機関に委託する。今年満3歳になる対象人数は約550人で、自己負担はない。

高揃獅子踊り

委員 高揃獅子踊りを画像保存する予算の財源内容は、撮られた画像はどこが保存し、著作権はどこが持つのか。画像の利用や一般放映の予定は。
文化スポーツ課長 市の事業であるが、高揃獅子踊り保存会でも積極的に予算化したということから、負担金として

ていたが、その残りの8割を財団法人地域創造の助成金で、2割を市の一般財源で措置する。画像の管理は、マスターテープを作成し、市と財団法人地域創造が保存する。著作権は市と同財団が持ち、画像はVTR等にダビングして、公民館や小学校に配布して活用していただく。また、広報などでも利用していく考えである。

農林水産創意工夫 プロジェクト支援

委員 農林水産創意工夫プロジェクト支援事業費補助金の内容は。
農林課長 県の単独事業で農水産物の産出額の増大への取り組みであり、オーダーメイ

ドの補助事業である。1団体2個人が対象である。畜産団体については乳用牛(34頭)の導入と肉用牛(372頭)の導入に対する補助である。個人に対しては自脱型コンバインの購入に対する補助であり、もう1人はさくらんぼの棚仕立て栽培に取り組むための補助である。

高揃築城600年祭

委員 活力ある地域づくり支援事業費補助金の使途は。
生涯学習課長 財団法人地域活性化センターから宝くじを財源とした助成金を受け、高揃築城600年祭実行委員会に補助金を交付するもの。来年2月までいろいろな事業を行う。

一般会計補正予算(第1号)のあらまし

補正額 8945万6千円
予算総額 190億9945万6千円

◆主な内容 (単位:千円)	
デマンド型乗合タクシー 運行委託料	△8,750
デマンド型乗合タクシー 運行事業費補助金	8,750
定期予防接種委託料	6,615
農林水産業創意工夫 プロジェクト支援事業 費補助金	64,720
活力ある地域づくり 支援事業費補助金	1,780
地域伝統芸能等保存事業 委託料	1,795

討論

6月22日の本会議において、討論がありました。

▼議第5号平成22年度天童市一般会計補正予算（第1号）
Ⅱ賛成多数で可決
▼議第9号天童市市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正についてⅡ賛成多数で可決

《反対》

デマンド型乗合タクシー導入については2月に環境福祉常任委員会に説明があり、3月定例会に予算が計上された。予算875万円の積算根拠が不明確だと指摘し、反対した。今回、委託料から補助金に組み替えるが、同額の組み替えは納得できない。
5月27日にプロポーザル審査会で事業者が決定し、事業内容が一定程度、明らかになったが、納得できる数字は示されていない。
何よりも市営バス利用者へのアンケートが後回しになり、

市営バスは小さくないでほしいとの声もたくさんある。経済性の追求から十分な議論もなく導入されたのは性急である。

今後、2カ月でデマンド型乗合タクシーの内容を市民へ周知徹底するのは難しい。8月いっぱいまで市営バス5路線を廃止する条例改正は拙速すぎである。

《賛成》

今回の補正予算について、歳入は県支出金や諸収入、新規事業に対応するための財政調整基金の取り崩しによる繰入金が増額である。

歳出はデマンド型乗合タクシー運行事業に係る予算の組み替え、農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業に伴う経費の計上などであり、いずれの施策についても長年にわたる懸案事項であり、また喫緊の課題である。
市営バス廃止条例については、これまで乗客が少なく空気バスと揶揄されてきた市営バスが、真に市民のためのバ

《反対》

また実績もない運行事業に、委託料から補助金に変更し、運賃を事業者の直接収入にする理由が理解できない。市民の利用料は500円で負担増になり、市の予算は収入減になる。今回の組み替えは、業者救済とも言える。
5月に担当課と、デマンドタクシーの行政視察に行ったが、その問題点は何一つ反映されていない。性急に5つのバス路線を廃止するのには反対である。
9月1日からの運行許可は出ていない。廃止は4月に延

先に生まれ変わるために、先進地視察の実施、地域公共交通会議の開催、さらに市営バス利用者に対するアンケート調査の実施、そして天童市デマンド型乗合タクシー運行プロポーザル審査会の開催などの必要な手順について、限られた時間の中で提案した改革案である。
市長の目指すまちづくりに必要な案件であり、賛成する。

意見書

期すべきである。正式に許可が出てから、廃止の告知をし、デマンド型タクシーの事前登録をすべきである。試行期間を設け、問題を改善してから本格運行すべきである。

6月22日に議員提出の意見書2件が、原案のとおり可決されました。

▼30人以下学級実現、教育職員賃金改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書（抜粋）

子供たちが豊かな教育を受けることを保障し、国全体で教育予算をしっかりと確保・充実させることが必要である。よって、30人以下学級を基準とした少人数学級の推進、定数改善や時間外勤務相当に見合う給与措置など教育職員の給与改善、さらに義務教育費国庫負担率の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元することを望むもの。
（提出先は、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣）

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書（抜粋）

選択的夫婦別姓制度については、世論は分かれており国民的合意には至っていない。国際的には夫婦別姓を採用している国もあるが、その国々によって歴史や民族性は違い、ただ追随するものではない。また、制度の導入は行政事務の混乱や家族関係の希薄化につながるものであり、選択的夫婦別姓制度を認める法改正を行わないよう望むもの。
（提出先は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣）

第3回臨時会

平成22年度第3回市議会臨時会が7月14日に開催され、市長提出議案1件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼議第11号 はしご自動車の取得についてⅡ消防はしご自動車取得するため、議会の議決を求めるもの。
・はしご自動車取得予定価格 1億7944万5000円

6

月

定

例

会

平成22年度第2回定例会（6月定例会）は、6月7日から22日までの16日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件6件は、初日の本会議で報告が行われました。そのほか、平成22年度天童市一般会計補正予算を始めとする予算議案2件、条例案件3件及び一般議案1件の計4件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、最終日の本会議で、議員提出の意見書2件の採決も行われました。

結果は、下記のとおりです。（請願審査の結果については、12ページに掲載しています。）

審議日程

月 日	内 容
6. 7	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
6. 10 6. 11	本会議（市政に対する一般質問）
6. 14	本会議（一般議案に対する総括質疑、議案・請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査）
6. 15	環境福祉常任委員会（付託案件の審査） 経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6. 16	予算特別委員会（付託案件の審査）
6. 17	予算特別委員会（討論・表決）
6. 22	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決）

提出された議案とその結果

(市長提出議案)

議案番号	件 名	結果
報第4号	平成21年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第5号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第6号	財団法人天童市牧野公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第7号	財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第8号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第9号	平成21年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報 告
議第5号	平成22年度天童市一般会計補正予算(第1号) ※一般会計予算を8945万6千円増額し、予算総額を190億9945万6千円とするものです。内容は、デマンド型乗合タクシー運行事業に係る委託料の補助金への組替えや農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業に伴う経費の計上などが主なものです。	可 決 (賛成多数)
議第6号	平成22年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可 決 (全会一致)
議第7号	天童市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び天童市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可 決 (全会一致)
議第8号	天童市一般職の職員に対する退職手当の支給に関する条例の一部改正について	可 決 (全会一致)
議第9号	天童市市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正について ※市営バスをデマンド型タクシーに移行することに伴い、市営バスの運行区間について、天童・寒河江線以外の5路線を廃止するものです。	可 決 (賛成多数)
議第10号	本市の公の施設の東根市区域内への設置等に関する協議について	可 決 (全会一致)

(議員提出議案)

議案番号	件 名	結果
議会議案第1号	30人以下学級実現、教育職員賃金改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	可 決 (全会一致)
議会議案第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について	可 決 (賛成多数)

(市長提出案件：第1回臨時会〈4/26〉)

議案番号	件 名	結果
報第1号	物損事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報 告
報第2号	平成21年度天童市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全会一致)
報第3号	平成21年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全会一致)
議第1号	天童市市税条例の一部改正について	可 決 (賛成多数)
議第2号	荒谷西工業団地整備工事(第1工区)請負契約の締結について	可 決 (全会一致)
議第3号	荒谷西工業団地整備工事(第2工区)請負契約の締結について	可 決 (全会一致)
議第4号	荒谷西工業団地整備工事(第3工区)請負契約の締結について	可 決 (全会一致)

(市長提出案件：第3回臨時会〈7/14〉)

議案番号	件 名	結果
議第11号	はしご自動車の取得について	可 決 (全会一致)

総務教育常任委員会

5月11日～13日

《広島県東広島市》

生涯大学システム

平成4年以降、生涯学習の推進を施策の柱とし「東広島市生涯学習のまちづくり推進計画」を策定、さらに有識者や大学関係者を中心として生涯学習推進会議を開き、「東広島市全体を学びのキャンパス都市」として位置づけ、様々な施策を展開してきた。

平成15年には「生涯大学システムアクションプラン」を策定し、学習機会の充実、学習成果の評価と活用、学習情報提供、推進体制の構築を柱とし、学習活動に参加して得たもの（入力）を活用する

（出力）までの支援を行うため、制度やハード面の整備を推進している。
本市でも市民への動機づけなども含め、範としなければならぬことを強く感じた。



《山口県下関市》

生涯学習プラザ及び図書館の運営

新たな生涯学習、文化活動の拠点として、既存の中央公民館、文化会館、婦人会館を再編、図書館機能を有する複

合施設として整備し、平成22年4月に開館した。また、運営をこれまでの市直営から民間活力を取り入れた「公設民営」で行っている。

「公設民営」にした理由は、民間の経営ノウハウや技術力を活用でき、市直営と比べ10%から15%のコスト削減ができると考えてのことだが、開館して間もないので、まだ実績が出ていない。
特に留意していることは、貸し館にならないよう、事業提案の時点で、教育事業であることをしっかりと認識してもらっているという点である。

今後の実績などについて情報を戴き、本市でも参考にすべきであると強く感じた。

《佐賀県鳥栖市》

外郭団体等の改革推進

平成18年3月に「第三次鳥栖市行政改革大綱第一次改訂版」を策定し、この大綱に「外郭団体等の見直し」を位置づけた。

「外郭団体」を位置づける定義は、法令等に明確に規定されていないため、市独自に

基準を設けて対応した。市土地開発公社は財政課との統合、市勤労福祉会館は廃止、市社会福祉協議会は内部改革などを実行した。

外郭団体の改革は、様々な

経済建設常任委員会

5月12日～14日

《大阪府貝塚市》

企業誘致・産業振興ビジョン

大阪湾の水質汚濁防止を目的に、大阪府主導で住宅・工業・港湾・緑地を整備した。

企業誘致活動には、「情報収集」、「企画力」が重要であり元銀行員を採用して活動を展開し、「不動産取得税の減免2分の1」、「固定資産税3年間免除」、「下水道使用料減免2分の1」などの優遇策を設置した。

企業を誘致するための立地条件、交通条件が大変恵まれてもいるが、目的達成のために、人材登用を含め、また、大阪府との連携も戦略的に綿密に行われて、計画的に工業

問題に突き当たると、実行に踏み切ったその気概と実行力はずばらしい。本市も補助金を含めた外郭団体の改革を断行する時期に来ていることを強く感じた。

立地が促進していた。

《奈良県大和郡山市》

元気城下町づくり

城下町を前面に出した具体的な内容と効果を研修した。

産・官・学・民が一体となり、お互いが「知恵」、「元気」、「新たな発想」を出し合い地域特性に適した事業①元気城下町クラブ②見本市開催



常任委員会 の報告

行政視察

環境福祉常任委員会

5月10日～12日

《愛媛県宇和島市》

子育て支援サービス

宇和島市に認可外保育園はない。子育て支援サービスの内容は①延長保育②休日保育③一時保育④特定保育⑤病後児保育⑥地域子育て支援センターである。

休日保育の利用が思った程多くない。一時保育をする人が2441人。病後児保育が小児科院内にあるのは画期的な事だと思ふ。

地域子育て支援センターは無料である。相談できる場所、情報収集の場所、仲間づくりの場所として、この支援センターは意味があると考える。



デマンドタクシーの運行

運行の仕様は10人乗りジャンボタクシーを市で購入。無償で貸与、委託運行。運賃は300円、小学生は150円、障がい者とその介護人は半額。19年度に路線バスが通っていない地域住民の陳情書により、デマンドタクシーについて検討を重ね、21年11月から22年3月まで実証運行をして、4月から本格運行している。宇和島ではデマンドタクシーというよりも予約型小型

バスというべきものである。陳情により運行になったわけだが、利用運行割合があまり高くない。地域住民に利用の喚起を促し、自治会との連携でまずまずの発展を期待したい。今後軌道に乗れば他地域のコミュニティバスの代りに検討していきたいとのこと。5カ月にわたる実証運行により、出てきた課題を移行に移し、本当のコミュニティタクシーになりつつあるのではないかと感じた。天童市においても9月からデマンドタクシーが導入される予定だが、市民にとって使いやすいデマンドタクシーにしたいものである。

《愛媛県四国中央市》

デマンドタクシーの運行

同市は4年前に合併してからデマンドタクシーの試験運行を行い、本年4月より実証運行を開始している。運営は地元タクシー5社が行い、委託金417万円で市民誰でも登録可。本市の4倍の広さで、4つのエリアがあり、エリアごとの運行となっている。こ

③きつず体験ゼミ④あきないネット⑤菜の花プロジェクト（遊休農地利用）などで、策定推進には「キーマン」を見つけておくことも重要である。また、市内の昭和工業団地の企業力も、この事業への大きな力となっている。

また、当市は金魚の一大産地であり、街の遊歩道を整備し金魚が泳いでいる風情をみることができた。

天童市において「地域づくり委員会」の取り組みの在り方を考える参考になった。

《京都府向日市》

まちづくり条例の制定

自治体が独自に「まちづく

れからも市民への周知広報が課題である。

地域省エネルギービジョン

新エネルギー産業技術総合開発機構の事業審査により策定事業を行う。

環境ボランティアの育成、エコ塾の開催、私が考える環境啓発、市民提案型環境啓発事業の推進、ごみ減量推進計

り条例」を制定運用しており運用の実態について研修した。向日市は狭い土地に家屋が密集し、狭い道路が入り組んでいる。これまでの指導要綱だけのまちづくりでは限界があり条例化した。

まちづくりに計画制度を創設し、「地区まちづくり計画」、「テーマ型まちづくり計画」の二つの制度を設けた。

開発策定の段階で市民の意見をよく聞かなければならない仕組みとなっている。技術的な指針を開発ガイドラインとして、これまでの指導要綱を補強している。

画、資源化の促進、住宅用太陽光発電システム装置補助事業への取り組みを行う。

19年7月に市環境基本計画を策定したが、更なる進展には至っていない。

しかし同市の資源回収においては古着の回収が好評で、高値で資源化されており、本市でも再利用の取り組みにおいて検討すべきと感じた。



夫婦で市議会を傍聴するのは数回目になりますが、いつも思うことがあります。それは傍聴席入口の階段が急傾斜で狭く、しかも暗く手すりもないため高齢者や体の不自由な方には大変です。ぜひ改良をお願いします。ぜひ改良をお願いします。

開始時間が近づくと、市長さんや議員の皆さんが緊張した様子で入場してきたのが傍聴席の方まで伝わるようでした。

今回傍聴したのは一般質問でした。前もって提出した項目を質問したのに対し、市長さんや、内容によっては市行政担当者が答弁しますが、どんな対応をするかが傍聴席の関心だと思います。

私は最近感じていることがあります。それは議会で採択された色々な項目に対して、対応が生ぬるくスピード感がなく他の市よりも遅れをとっていると思います。他の市民の皆様には

市議会に思う

奥山新伍(北久野本)

どう映っているでしょうか。例えばいつまでたっても住宅が建てられない大規模造成は、市の考えと市民の望みの違いをまざまざと見せつけられたようなものです。もう少し無駄のない政策を行ってくださるようお願いいたします。また、できるものからスピード感を持って解決されることを思っています。

今後議員さんにも地域の課題など申し上げ、生活面の向上に繋がるよう市民と共に話し合っていきたいと思います。

最後に、平成20年度より天童北部地区まちづくり交付金事業が始まり、ひかり保育園跡地に避難所を兼ねた交流広場が整備されました。また広場中央に天童市初の飲料水用耐震性貯水槽、貯水量100トンが埋設され地域住民の方々は大変喜んでいました。また道路改良、側溝整備、民地への電柱移設など防災の安全安心まちづくりが着々と進められています。事業の完了が待ち遠しいです。議員の皆様には感謝しております。

永年勤続表彰

5月26日に開催された全国市議会議長会総会において、永年勤続者として次の方が表彰されました。

- 議長4年以上 小澤 精議員 (H17年10月～21年9月)
- 議員10年以上 小松善雄議員、石垣昭一議員、山崎 諭議員、後藤和信議員

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出に関する件	山形県教職員組合 山形地区支部 支部長 設楽隆雄	総務教育	採択 (全会一致)
選択的夫婦別姓制度の法制化に反対することに関する請願書	日本会議山形 会長 梅津伊兵衛	環境福祉	採択 (賛成多数)

9月定例議会の日程(予定)

- 9月2日(木) 開会
- 6日(月) 一般質問
- 7日(火) 一般質問
- 8日(水) 総括質疑、常任委員会
- 9日(木) 常任委員会
- 10日(金) 決算特別委員会
- 13日(月) 決算特別委員会
- 14日(火) 決算特別委員会
- 15日(水) 決算特別委員会
- 16日(木) 予算特別委員会
- 17日(金) 予算特別委員会
- 24日(金) 閉会

※請願の締め切りは、8月25日(水)正午までの予定です。

※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●6月議会から議場の氏名標が天童市特産の将棋駒のデザインになりました。名前は書き師の方に書いていただきました。●サッカーワールドカップも日本の活躍で盛り上がりました。Jリーグも後半戦が始まり、天童は夏祭りのシーズンです。●議会でも市民の皆さんと共に天童市を盛り上げて参ります。

●広報委員会では議会、だよりの他に市のホームページの議会ページを監修しています。より見やすくわかりやすくしていきます。議会の動画配信をしていますので是非ご覧下さい。

●皆さんのご意見、ご提言をお寄せ下さい。

〈広報委員会〉

- 委員長 伊藤 和子
- 副委員長 後藤 和信
- 委員 松田 光也
- 委員 狩野 佳和
- 委員 村山 俊雄
- 委員 松田 耕一

